



みんなのしあわせを創る杉並の教育

校長 小松 進一

— 杉並区教育ビジョン 2022 —

杉並区教育委員会では、平成24年（2012年）に「杉並区教育ビジョン2012」を策定し、「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の実現を目指し、生涯にわたり誰もが共に学び支え合い、明日の杉並を創り出せるよう、学校（園）や教育行政関係者のみならず、多くの保護者や地域住民が学校の運営に参画し、学校を支援し、地域に子どもの学びの場を創る区民の輪を広げる努力をしてきました。

このたび、令和3年度（2021年）に「教育ビジョン2012」の終期を迎え、また、区の新たな基本構想が策定されることを受け、令和4年度から概ね10年程度を期間とする「教育ビジョン2022」を策定しました。

策定にあたっては、多くの区民、特に子どもたちの声を聴き取りました。子どもたちからは、「みんな楽しくしあわせに暮らせるまちになってほしい」「みんながやさしいまちになってほしい」など、それぞれが思い描く未来に向けた言葉とともに、「ほかの人のために自分から行動できる大人になりたい」「いろいろな意見を受け入れられる大人になりたい」といった言葉が寄せられました。また、社会の大きな変化を受け止め、新しい教育の在り方を考えたとき、一人ひとりが自分らしく生きるという、人としての尊厳を尊重するとともに、多様性（ダイバーシティ）と社会的共生（ソーシャルインクルージョン）を基本に据えました。

一方で、今日のような社会の転換期にあたっては、明確な将来像を描くことが困難となり、これまでのような10年後の社会を見据えたあるべき姿を描くことは難しく、さまざまな変化の脅威そして時代の要請にしなやかに対応していくことが大切であると考えました。

このような策定にあたっての基本的な考え方のもとに、「教育ビジョン2022」では、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を新たに掲げ、子どもも大人もすべての人が、生涯にわたって、学び合い、教え合い、かかわり合う教育の当事者として、次の5つの視点を定めました。

- 1 子どもの思いを尊重する
- 2 ちがいを受け入れる
- 3 対話を大切にする
- 4 学びの成果を贈り合う
- 5 社会を創る当事者として考える

「すべての人に教育を」(Education for All)という考え方の上に、「みんなが共に教育を創る」(Education by All)当事者となり、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を豊かに育て続けることによって、誰もが自分らしく生きることができるよう「みんなが創るまち」(City by All)の実現につなげていきます。（『杉並区教育ビジョン2022』令和3年11月より抜粋）

今後は、「教育ビジョン2022」の具現化を目指して「共に尊重し大切にしたいこと」「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」を踏まえた教育活動の展開を図りますので、保護者の皆様と地域の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

— 2学期終業式を迎えるにあたって —

緊急事態宣言が解除された10月からは、予定していた大きな行事（合唱祭、1・2学年校外学習）を実施することができました。生徒の皆さんは、それぞれの行事にまじめに一生懸命取り組み、その経験が大きな成長につながりました。保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今年一年間、ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

教育活動の紹介（2学期を振り返って・PART1）

※既に学校によりでご紹介済みの行事等を除きます。

『生徒会役員選挙』9/24(金)

9/24(金)生徒会役員選挙が行われ、生徒会活動の中心は3年生から2年生へバトンタッチされることとなりました。選挙当日はまた緊急事態宣言下であり、全校生徒が体育館に集まる事ができず、立会演説会の内容はオンラインで各クラスに配信されました。プロジェクターから映し出された映像にもかかわらず、各候補者の演説が終わる度に、どの教室からも温かい拍手が沸き上がります。東原中の生徒たちの優しさと思いやりを感じる瞬間でした。



『放課後スタディ』～学校支援本部～

①10/4(月)～5(火) ②11/11(木)～15(月)



緊急事態宣言が明け、『放課後スタディ』が再開されました。『放課後スタディ』は、定期考査前の放課後、学校支援本部の皆様、希望する生徒の自習の見守りをさせていただく取組です。生徒たちは自分自身で学習の課題を決め、黙々と真剣に学習していました。

『土曜授業・学校公開』10/9(土)



コロナ禍のために見合わせていた学校公開。感染状況を見極め、10月の土曜授業を保護者様限定で、今年度初公開しました。感染防止対策として、廊下からのみのご参観といたしましたが、平素の教育活動の一端をご覧いただけたのではないかと思います。

『生徒総会』10/20(水)

2年生中心の生徒会活動の船出となる『生徒総会』。活発な議論、質疑応答が繰り広げられ、東原中生徒会の伝統がしっかり次の代に受け継がれたことを確信しました。



「異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、人間関係をよりよく形成するなど、様々な資質・能力を育成することを目指す。」—副校長あいさつの中でふれた「生徒会活動の目標」です。学びの多い活動にしていきたいと思います。

『杉並区中学校連合文化祭』11/6(土)～8(月)



2年ぶりの開催となった『中学校連合文化祭』。本校からは、代表生徒による美術科と家庭科の作品が出品されました。創意工夫を凝らし、鮮やかに彩られたこれらの力作は、元杉並第四小学校の展示スペースに上記の期間、展示されました。

2学期後半のご紹介は、PART2(1月号)に続く

《2学期末から3学期始までの主な予定》

12月

- 23日(木) 大掃除
- 24日(金) 2学期終業式、安全指導、クリーン作戦
- 25日(土) 冬季休業日始
- 29日(水) 学校開庁日始
- 令和4年1月
- 3日(月) 学校開庁日終
- 6日(木) 冬季休業日終
- 7日(金) 始業式、安全指導

※校地内への立入りはできません

- 8日(土) 土曜授業
薬物乱用防止セーフティ教室(3年)
- 11日(火) ふれあい週間始
自転車安全利用講習会(再延期後)
- 12日(水) 都立推薦出願始(3年)、職員会議
- 13日(木) 避難訓練
- 14日(金) 百人一首大会、ふれあい週間終
- 17日(月) 生徒朝会、専門・学校委員会
都立推薦出願終